

# 同窓会だより

編集発行 長崎医学同窓会

長崎市坂本町12-4  
長崎大学医学部内

印刷所 三省堂印刷所  
長崎市松山町4-32



「同窓会だより」発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

## 挨拶

## 挨拶

長崎医学同窓会会長

滝津 久次郎

「同窓会だより」発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。長崎にも被爆三〇周年がやってきました。過日三〇周年記念事業の件について、同窓会本部と長崎市支部の合同役員会をひらいて、いろいろ協議しました。

ものではない。なお会として一番重要なことである本部と支部との連携を強化し、会員の団結と親睦を深めるため、現在作業中の新しい会員名簿の早期発行(本年十一月予定)と学内や各支部の状況を簡単に記載した「同窓会だより」を年四回程度印刷して会員に配付することが決められました。医学部内には、本年五月長大

## 新病院の沿革

現在の附属病院の多くは昭和二十年八月九日の原子爆弾によって壊滅的被害をうけましたが、昭和二十五年十月戦災建物の一部補修を完了したものであります。被爆三十年を終り建物の一部は長期使用に耐えなくなり、さらには現在の建物を改築あるいは増築することは不可能とされ、その限界に至っております。

これを機に昭和四十六年九月に附属病院の敷地内に新病院建設が決定されました。

場所は旧皮膚科、結核病棟(旧高北病棟)跡で昭和四十七年九月より着工され昭和四十九年三月の竣工の予定でありましたが、最近の経済状況によって一年の延期となり、五年八月に新病院への移転が予定され八月に新病院への移転が完了されました。

総予算は約百億といわれております。新病院の特徴としては、最近新しく作られた大学病院ではいずれも外来、病棟および研究棟がわか



完成予定予想図

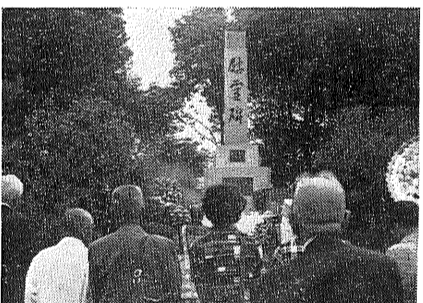
れて、分離して作られています。が、本学においてはこれらの機構が強調されていることでもあります。

が同一階に、とくに機器別に構成、区分され診療、研究の有機性が強調されていることでもあります。

たことば、地下は共同動物実験室、サービス部門。一階は管理、薬剤、中七階は外来病棟とにも循環器、胸部関係など十階には臨床における総合図書室が設けられています。新病院に付属して収容人員一五〇名の臨床講堂二つ、大講堂、解剖室も予定されており

## 被爆三十周年慰霊祭

本年八月九日被爆三十年の原爆慰霊祭、遺族、知友、教職員等多数参加のもと、医学部グロリアの慰霊碑前において慰霊祭が行なわれました。



被爆三十周年慰霊祭の様子

## 広島県支部総会に出席して

医学部長 野 北 通 夫

九月十九日、北村精一先生とご一緒に、同門の広大皮膚科矢村卓三教授の就任十周年記念地方会に招待された同窓会広島県支部の歓迎会に列席して参りました。

広島県支部は正会員八十四名、準会員十五名の大会で、当日迄永い間森敏太郎先生(大十一卒)が支部長をしておられましたが、引退を表明され、代って竹本寛先生(昭十三卒)が新しい支部長に推薦されました。色々の事務は浜

## 同窓会名簿

昭和五十年版近刊

新病院にはすべての外来は移転しますが、研究棟には現在の第一研究棟関係のものが移転いたします。第二研究棟は第二次計画にとされております。

現在の予算病床は七六五床でありまして、新病院は八一三床と計画されています。各階の病床は約七四と予定されています。

このように高層建築であるため全館空調され、エレベーターは各階とも外来四台、病棟三台、配膳用二台、研究棟二台、非常用に外来、研究棟に各一台とりつけられております。

## 長崎医学同窓会本部役員

- |       |           |             |
|-------|-----------|-------------|
| 名誉会長  | 野 北 通 夫   | (医学部長 S・16) |
| 会 長   | 滝 津 久 次 郎 | (長崎 S・8)    |
| 副 会 長 | 西 部 一 義   | (S・15)      |
| 常任理事  | 宮 住 重 雄   | (S・21)      |
|       | 千 住 三 正   | (佐世保 T・10)  |
|       | 西 部 一 義   | (長崎 T・14)   |
|       | 宮 住 重 雄   | (S・3)       |
|       | 千 住 三 正   | (S・8)       |
|       | 西 部 一 義   | (S・18)      |
|       | 宮 住 重 雄   | (S・27)      |
|       | 千 住 三 正   | (S・28)      |
|       | 西 部 一 義   | (S・29)      |
|       | 宮 住 重 雄   | (S・30)      |
|       | 千 住 三 正   | (S・16)      |

## 長崎医学同窓会総会開催のお知らせ

野 北 通 夫

昭和五十年度の長崎医学同窓会総会並びに同長崎市支部総会を左記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

昭和五十年十一月二十二日(土曜日)午後六時より日(土曜日)午後六時より日(土曜日)午後六時より

## 和泉成之名誉教授ご逝去

和泉成之名誉教授(七十七才)

和泉成之名誉教授(七十七才)は腹部腫瘍のため東京都立大久保病院に入院加療中でしたが、去る九月四日逝去されました。

同窓会本部は、大正十三年東京大学医学部教授、京城大学医学部教授を経て、昭和二十四年五月長崎医学部教授として来任され、小児科を主宰された。附属病院を創設し、昭和四十四年五月長崎大学長に就任され、四十七年十一月退官された。

高潔な人格と、温情あふる眼差しとは同窓生のひとしく忘れ得ないところであろう。ほるかにご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

学内のニュースや、同窓会支部の様子などをお知らせして、会員の親睦を図るという趣意で、このたび「同窓会だより」(昭和五十年十月号)を発刊することになりました。

各支部だよりや会員の動向などを書き送って下さいますようお願いいたします。

なご次回の「同窓会だより」は五十年一月発行の予定です。大学も現在新制度の検討が行なわれており、昨年の紛争以来、未だ十分落ち着いた状態ではありませぬが、こうした時代だからこそ、またこのようなきさやかな試みも必要だと信じています。

例年になく残暑もようやく影をひそめ、高い空、そして快い風が吹き初めました。同窓生各位のご健闘をお祈りいたします。

学園だより編集部 西森 一正 内藤 芳篤 山辺 徹